科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名<英訳>	ILASセミナー ：阿蘇で観る大地の営み ILAS Seminar :Dynamic earth as observed in Aso Caldera			担当者所属職名・氏名	理学研究科　教授　大倉　敬宏 理学研究科　教授　横尾　亮彦 理学研究科　助教　石井　杏佳		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	受講定員(1回生定員)	8 (8) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	共西23			使用言語	日本語
キーワード	地球人間圏科学関連 / 阿蘇カルデラ / 地震と火山噴火 / 熊本地震と人々の営み / 防災						

[授業の概要・目的]

約9万年前の巨大噴火により形成された阿蘇カルデラ．その外輪山の一部は、おおよそ2500年に1度の頻度で発生する布田川断層のずれにより削り取られてきた．2016年熊本地震本震はその一コマである．断層のずれにより形成された峡谷からカルデラ内の湖水が流出したおかげで，カルデラ内には平坦な大地が形成され，現在では4万人を超える人々がこの大地で生活を営んでいる．

本セミナーでは，夏季休業期間の4日間（8月26-29日）の熊本阿蘇実習と月に1~2回程度の事前準備セミナーを通して，地震活動や火山噴火についての最新の研究成果を研究者と共有する．巡検では阿蘇地域や益城町を対象に熊本地震の爪痕をめぐり，阿蘇火山において火山観測を実体験する．

火山は地球内部を覗く窓である．本セミナーを通して，大地の営みのダイナミックさを実感していただく．それとともに，人々が火山噴火や地震災害にどのように向き合っているのかを見聞する．なお，本セミナーは文科系学生の受講も歓迎する．このセミナーが，皆さんが地震や火山を通して地球科学を学ぶことのできる貴重なチャンスと考えるからである．

[到達目標]

理工系の学生は，火山噴火や地震の研究がどのように行われているか，実際のデータから火山活動を評価する手法を学ぶことができる．文科系の学生は、火山噴火や地震の研究が何を目指しているかを学び，火山災害や地震災害の実情と理工系的研究だけでは解決できない問題の所在を理解する．

[授業計画と内容]

このセミナーは夏季休業期間中（8月26-29日）に実施する実習と，月に1~2回程度の京都で行う事前学習会（金曜５限）からなる．事前学習会は大倉が担当し，開催日は受講者と相談する．

事前学習会の内容は，熊本地震の概要，火山噴火とその観測についての概要などである．また，受講生が，文献やインターネットなどで収集した情報に基づき，発表をする．巡検の詳細も事前学習会で説明する．
実習は，夏季休業期間中の4日間に熊本県阿蘇郡南阿蘇村の京都大学火山研究センターに宿泊しておこなう．阿蘇山周辺で実際の火山観測を体験し，熊本地震の地震断層や被災地を訪れる(火山観測は噴火警戒レベルに応じ立ち入り規制区域外で実施される).

受講許可者は、ILASセミナー第１回に指定された場所に集合すること．

ILASセミナー ：阿蘇で観る大地の営み(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：阿蘇で観る大地の営み(2)

[履修要件]

夏季休業期間中の3泊4日の阿蘇実習（8月26-29日）に参加可能であること.

[成績評価の方法・観点]

事前学習会への出席と発表の状況（40点）、実習への参加とレポート提出の状況（60点）で評価する。阿蘇実習への参加は必須。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

事前学習会において，自分で報告する課題を選び文献調査を行う．課題の方向性については，教員が助言する.

[その他（オフィスアワー等）]

学生教育研究災害傷害保険に加入すること.
阿蘇実習にかかる経費は，交通費，宿泊費，食費である. これを学生が負担する.
交通費はJR利用の場合、京都からの往復で約3.3万円（航空機利用の場合，購入時期によりもう少し安くなる），現地での移動にはレンタカーを利用するので交通費不要．火山研究センターでの宿泊にかかる諸費用は1500円である.

[主要授業科目（学部・学科名）]